

検査情報月報10月号 ▶ 概要版 ◀



▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、検査情報月報を発行しています。



2024年10月発行

医動物・種類同定検査結果（令和6年7月～9月）

▶ 人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。昆虫類等の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かり、効果的な対策を立てることにつながります。

主な結果 ▶ 昆虫類以外の節足動物（セアカゴケグモ2件）、その他（不明2件）でした。

夏期食品収去検査結果（令和6年度）

▶ 夏期食品等一斉点検は、厚生労働省の通知に基づき、夏期に多発する食中毒等食品による事故防止と食品衛生の確保を目的に全国一斉に実施されるものです。横浜市においても令和6年6月1日から8月31日までを重点監視期間と定め、一斉点検を行いました。

主な結果 ▶ **食品添加物検査** 菓子類、清涼飲料水、野菜類・果実及びその加工品等の食品143検体（輸入品124検体、国産品19検体）について、保存料、着色料、甘味料など3,192項目の検査を実施しました。輸入菓子から日本では使用が認められていない酸化防止剤（TBHQ）が検出され、福祉保健センターが輸入者を所管する自治体に調査を依頼しています。

▶ **細菌検査** 細菌検査の内訳は、魚介類9検体、冷凍食品4検体、清涼飲料水20検体、その他の食品23検体、ふきとり14検体、計70検体180項目でした。検査の結果、規格基準違反はありませんでした。

農産物の残留農薬検査結果（令和6年7月～8月）

▶ 食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、消費者庁は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物に残留する農薬の検査を行っています。

主な結果 ▶ **市内産農産物** 7月にきゅうり、トマト、なす及びばれいしょ各3検体、とうもろこし及びにんじん各1検体の計14検体、8月になす5検体、ばれいしょ3検体、オクラ2検体、えんさい（空心菜）及びピーマン各1検体の計12検体、合計で26検体の検査を行いました。

▶ これら合計26検体の検査を行った結果、トマト3検体、オクラ、きゅうり及びなす各1検体から延べ8項目の農薬が検出されましたが、基準値を超えたものはありませんでした。